

令和5年度

公営企業会計決算資料

産業労働部

項 目 頁

公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

1	損益収支の状況	1
2	今後の経営状況	2
3	事業収益の状況	3
4	事業費用の状況	4
5	企業債残高の推移	5

令和5年度 福井県公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

1 損益収支の状況

令和5年度の公営企業会計については、工業用水道事業会計以下4会計の純利益は合計で6億6,159万4千円となった。

工業用水道事業会計の事業収益は、7億5,194万8千円、事業費用は6億654万9千円となり、純利益は、1億4,539万9千円となった。この純利益については、今後の建設改良の財源として建設改良積立金に全額を積み立てる。

水道用水供給事業会計の事業収益は、31億3,795万6千円、事業費用は27億5,203万2千円となり、純利益は、3億8,592万4千円となった。この純利益については、減債積立金に2億1,244万3千円を積み立てるほか、建設改良積立金に1億7,348万1千円を積み立てる。

臨海工業用地等造成事業会計の事業収益は、1億603万4千円、事業費用は8,704万6千円となり、純利益は、1,898万8千円となった。この純利益については、前年度繰越利益剰余金と合わせて翌年度に繰り越すことにより、翌年度繰越利益剰余金は12億5,681万6千円となった。

臨海下水道事業会計の事業収益は、11億6,974万1千円、事業費用は10億5,845万8千円となり、純利益は、1億1,128万3千円となった。この純利益については、建設改良積立金に全額を積み立てる。

「その他未処分利益剰余金変動額」については、工業用水道事業会計、水道用水供給事業会計、造成事業会計および臨海下水道事業会計の全ての会計について全額を資本金に組み入れる。

(単位：千円)

区 分		工業用水道事業	水道用水供給事業	臨海工業用地等 造成事業	臨海下水道事業	合 計
事業 収益	営業収益	717,579	2,738,719	104,000	859,948	4,420,246
	営業外収益	34,369	399,237	2,034	309,793	745,433
	計	751,948	3,137,956	106,034	1,169,741	5,165,679
事業 費用	営業費用	606,544	2,644,227	87,046	1,057,972	4,395,789
	営業外費用	5	107,805	0	486	108,296
	計	606,549	2,752,032	87,046	1,058,458	4,504,085
純 利 益		145,399	385,924	18,988	111,283	661,594
前年度繰越利益剰余金		0	0	1,237,828	0	1,237,828
その他未処分利益剰余金変動額		12,471	508,030	265,291	12,918	798,710
当年度未処分利益剰余金		157,870	893,954	1,522,107	124,201	2,698,132
利益剰余金処分案		157,870	893,954	265,291	124,201	1,441,316
(1) 減債積立金		0	212,443	0	0	212,443
(2) 建設改良積立金		145,399	173,481	0	111,283	430,163
(3) 土地造成積立金		0	0	0	0	0
(4) 資本金		12,471	508,030	265,291	12,918	798,710
翌年度繰越利益剰余金		0	0	1,256,816	0	1,256,816

2 今後の経営状況

県営第一工業用水道事業については、安定した経営状況となっており、今後とも施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

福井臨海工業用水道事業については、給水実績は減少したものの経営は安定しており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

坂井地区水道用水供給事業については、順調な経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

日野川地区水道用水供給事業についても、順調な経営状況となっており、今後とも施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

臨海工業用地等造成事業については、公共用地の転用による新たな産業用地を拡充する造成工事を段階的に行っている。今後とも関係部局と一層の連携を図りながら、新たな企業の誘致により造成区画の売却に努めていく。

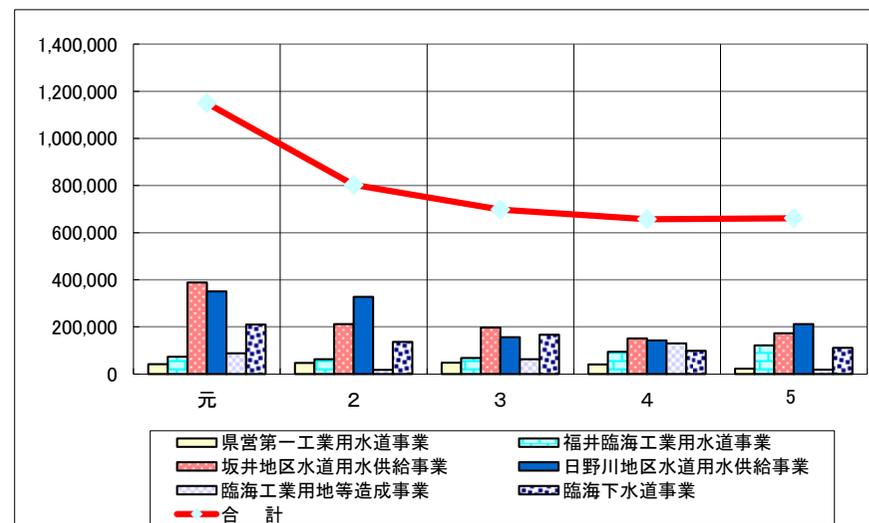
臨海下水道事業については、処理量の増加により安定した経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

公 営 企 業 の 純 利 益 の 推 移

(単位：千円)

会 計 \ 年 度	元	2	3	4	5
県営第一工業用水道事業	41,828	46,495	48,418	40,553	23,348
福井臨海工業用水道事業	72,929	62,862	67,665	94,569	122,051
坂井地区水道用水供給事業	388,081	211,653	197,476	150,794	173,481
日野川地区水道用水供給事業	350,383	327,710	155,956	142,872	212,443
臨海工業用地等造成事業	87,506	17,639	62,310	130,285	18,988
臨海下水道事業	209,443	136,391	166,505	98,309	111,283
合 計	1,150,170	802,750	698,330	657,382	661,594

(単位：千円)



3 事業収益の状況

営業収益は、料金収入や土地売却収入を計上している。令和5年度の営業収益は、4会計合計で44億2,024万6千円となり、前年度に比べ5億6,021万5千円減少した。これは主に、臨海工業用地等造成事業の土地売却収入の減少によるものである。

営業外収益は、受取利息や補助金等を計上している。令和5年度の営業外収益は、4会計合計で7億4,543万3千円となり、前年度に比べ6,423万7千円減少した。これは主に、水道用水供給事業の長期前受金戻入益が減少したことによるものである。

(単位：千円、%)

区 分		年 度		対前年度比	
		5	4	増減額	増減率
工水	営業収益	717,579	721,647	△ 4,068	△ 0.6
	営業外収益	34,369	38,134	△ 3,765	△ 9.9
	合計	751,948	759,781	△ 7,833	△ 1.0
上水	営業収益	2,738,719	2,732,777	5,942	0.2
	営業外収益	399,237	445,021	△ 45,784	△ 10.3
	合計	3,137,956	3,177,798	△ 39,842	△ 1.3
造成	営業収益	104,000	693,129	△ 589,129	△ 85.0
	営業外収益	2,034	2,758	△ 724	△ 26.3
	合計	106,034	695,887	△ 589,853	△ 84.8
下水	営業収益	859,948	832,908	27,040	3.2
	営業外収益	309,793	323,757	△ 13,964	△ 4.3
	合計	1,169,741	1,156,665	13,076	1.1
合計	営業収益	4,420,246	4,980,461	△ 560,215	△ 11.2
	営業外収益	745,433	809,670	△ 64,237	△ 7.9
	合計	5,165,679	5,790,131	△ 624,452	△ 10.8



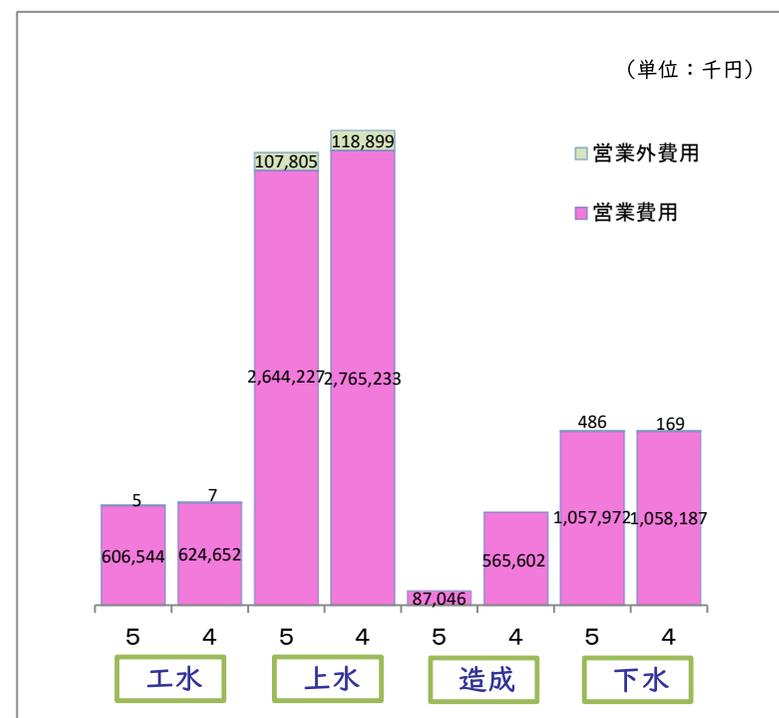
4 事業費用の状況

営業費用は、管理運営費や減価償却費、土地売却原価を計上している。令和5年度の営業費用は、4会計合計で43億9,578万9千円となり、前年度に比べ6億1,788万5千円減少した。これは主に、臨海工業用地等造成事業の土地売却原価の減少によるものである。

営業外費用は、主に企業債の支払利息を計上している。令和5年度の営業外費用は、4会計合計で1億829万6千円となり、前年度に比べ1,077万9千円減少した。これは、主に水道用水供給事業の支払利息の減少によるものである。

(単位：千円、%)

区 分		年 度		対前年度比	
		5	4	増減額	増減率
工水	営業費用	606,544	624,652	△ 18,108	△ 2.9
	営業外費用	5	7	△ 2	△ 28.6
	合計	606,549	624,659	△ 18,110	△ 2.9
上水	営業費用	2,644,227	2,765,233	△ 121,006	△ 4.4
	営業外費用	107,805	118,899	△ 11,094	△ 9.3
	合計	2,752,032	2,884,132	△ 132,100	△ 4.6
造成	営業費用	87,046	565,602	△ 478,556	△ 84.6
	営業外費用	0	0	0	0.0
	合計	87,046	565,602	△ 478,556	△ 84.6
下水	営業費用	1,057,972	1,058,187	△ 215	△ 0.0
	営業外費用	486	169	317	187.6
	合計	1,058,458	1,058,356	102	0.0
合計	営業費用	4,395,789	5,013,674	△ 617,885	△ 12.3
	営業外費用	108,296	119,075	△ 10,779	△ 9.1
	合計	4,504,085	5,132,749	△ 628,664	△ 12.2



5 企業債残高の推移

企業債残高は年々減少しており、令和5年度末は、水道用水供給事業の48億8,518万5千円となった。

(単位:千円)

会計	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
上水	企業債残高	6,962,603	6,444,488	5,922,751	5,402,661	4,885,185
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	514,801	518,114	521,737	520,090	517,477

